

西紀っ子だより



「未来を切り拓き、夢をかなえる力の育成 ～郷土を愛し ところ豊かに たくましく～」

◇丹波篠山市立西紀小学校

◇〒669-2716 丹波篠山市乗竹650

◇TEL: 593-0024 ◇FAX: 593-0249

◇E-mail: el-nishiki@school.sasayama.jp

◇HPIはこちらへ→



No. 9

(文責: 安井健二)

「出会い、縁、絆は人をつくる」

校長 安井 健二

あけましておめでとうございます。2025年が始まりました。

「今年の干支(えと)は?」と言うと、ね・うし・とら…と動物のことを思い浮かべる方がほとんどだと思いますが、実は干支は「十干(じっかん)」と「十二支(じゅうにし)」を組み合わせたもののことを言うそうです。今年(2025年・令和7年)は、十干の「乙(きのと)」と十二支の「巳(み)」が組み合わせさせた「乙巳(きのと・み)」です。この乙巳(きのと・み)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると言われています。

さて、十干十二支は全部で60種類あり、還暦(60歳)は自分が生まれた時の干支に戻ってきたことのお祝いです。あと2年すれば、私も「ひのえ・うま」が戻って来て還暦を迎えます。

年々1年の流れが早く短くなっているように感じます。そんなことを家で話していると、「年を取るほど1年を短く感じるらしいで!」と言われて、新年早々、年齢の積み重ねを感じ、これまでの教師人生を振り返ってしまいました。

平成2年に今田中学校に赴任し7年間、西紀中学校で3年間勤務しました。その西紀中学校の3年間で生徒だった教え子たちが今の保護者になっていたりして縁を感じています。その後、3年間中米のグアテマラ日本人学校での勤務。日本ではおそらく会わないであろうと思われる、全国各地からの先生との出会い、いろいろな環境でグアテマラ日本人学校に通い学んでいる子どもたちとの出会い、日本人企業、大使館、青年海外協力隊で働く人たちとの出会いは、異文化の中でいろんな感性と思考に触れ合う機会になりました。帰国後、篠山東中学校で1年間勤務した後、また一つの転機を迎えます。学校現場を離れ、市教委・県教委で14年間の勤務。その間、丹波の森公苑でのシューベルティアードを通してのアーティストや高齢者大学の生徒さんたちとの出会い。人と自然の博物館での各分野の研究者たちとの出会いや、全く教師とは思えない来館者の増員に向け戦略会議とイベントの企画。いろんなことを経験し、いろんな人たちとの出会いがありました。その後、想像していなかった宝塚市の学校で5年間勤務しました。これまた新しい環境で、たくさんの人たちとの出会いがありました。

考えてみれば、想像しない環境で、偶然出会った人たちとの出会いは強い「絆」になり、その「絆」は今の私を作る源になっているように思います。決して、その一つ一つの偶然の出会いは楽しいことばかりではありませんでしたが、「まあ、何とかなるか!」と楽しめていたように思います。そう思えたのは、そうした「絆」のおかげであるとも思っています。そして今、2年目の終盤を迎えた西紀小学校で、大好きな「西紀っ子」と大好きな教師の仕事を楽しんでいます。還暦まで2年になった2025年も好きなことができることにこの上ない幸せを感じます。

2025年も1年が徐々に短くなっていると感じてしまう1日1日を大切に、「好きなこと」を楽しみながら、「西紀っ子」と楽しい日々を送りたいと思っています。

「西紀っ子」が、また今年新たな経験をして、将来を通して楽しみ続けられる「好きなこと」を見つける旅を続けてくれることを願っています。がんばれ西紀っ子!! 応援しています。

保護者の皆様、保護者の皆様、2025年もどうぞよろしくお願ひいたします。

まとめの学期、3学期！！

1月7日、3学期が始まりました。クリスマスのお話、お正月の話、家族との団らんの話など、楽しい思い出話をたくさん持って、学校に戻ってきてくれました。思い出話だけでなく、今年頑張ること、そしてこれからの夢も考えて登校してくれた西紀っ子もたくさんいました。良いスタートが切れました。

「夢は見るものではなく叶えるものです」

子どもたちが、この3学期に1年間のまとめをし、目標（夢）をしっかり持って、次の学年にステップアップするための良い助走にして欲しいと思っています。



書き初め大会！

1月8日に、毎年恒例の書き初め大会を開催しました。し～んとした静寂の中で、心を落ち着けて、一筆一筆、思いを込めながらそれぞれの課題に取り組む事ができました。ゲストティーチャーとして、昨年度に引き続き「西紀っ子サポートチーム」の明山順子さんにご指導いただきました。ありがとうございました。



「昔あそび」を体験しました！



昔ならお正月の恒例行事だったように思われる「昔あそび」を、6年生が企画して全校生が体験するイベントを1月8日に開催しました。よくやりそうで、最近ではなかなかやる機会が減った「たこあげ」「はねつき」「福笑い」などを体験することができま

した。

たこをあげるために一生懸命走る子、思いのほか立派な作品(?)になり思わず吹き出した福笑い、あたりそうであつた「はねつき」など、短い時間の中にも昔を偲ぶ「ふるさと教育」の実践を垣間見ることができました。6年生、よくがんばったね！！

2学期の「いじめアンケート」結果より

本校では、毎学期、児童に「いじめアンケート」を行い、その結果を基にした「相談ウィーク」を設定して、いじめの早期発見、迅速な対応に取り組んでいます。2学期は11月にアンケートを行い、その後、担任と児童との個別面談を行いました。その結果、継続的な「いじめ」の認知件数は0件でしたが、遊び半分で軽くぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりといった事案の中で児童間のトラブルになるケースはありました。仲が良い、親しい間柄でも、「自分の行動で相手が嫌な気持ちになっていないか」「自分の行動が正しいか」等、自分自身を振り返り、改善していくことができる「高い人権意識」を持った児童の育成に今後も取り組んでいきたいと考えています。